

～ ロジスティクス分野における環境パフォーマンス算定～
二酸化炭素排出量算定ガイド（Ver. 2）
（データ収集方法事例集）
【輸配送 / トラック輸送版】

2006年3月15日

社団法人日本ロジスティクスシステム協会
ロジスティクス環境会議
環境パフォーマンス評価手法検討委員会

はじめに

このガイドブックは、ロジスティクス分野の環境パフォーマンス指標として最も関心が高い、トラック輸配送に起因する二酸化炭素排出量を算出する方法を示したものです。

当委員会は、ロジスティクス分野における環境パフォーマンス評価手法について、ロジスティクス環境会議のメンバーが、環境負荷の標準的な算定方法に関する共通の認識をもつこと、また、その普及・活用を図ることを目的として活動してまいりました。

2年半に及んだロジスティクス環境会議の第1期の活動を締めくくるにあたり、2004年度に作成した『二酸化炭素排出量算定ガイド(Ver.1)』を『二酸化炭素排出量算定ガイド(Ver.2)』として増補・改訂いたしました。

環境パフォーマンスは、客観性を有しかつ他社と比較可能なものでなければなりません。これらに加えて、算定結果の精度が高いことが望ましいのですが、算定値の精度の高さは算定のための負荷の大きさと比例する関係にあります。しかし、企業が日常業務の中で環境パフォーマンスの算定を行うためには、これに必要なデータの収集が容易でかつ低コストでなければなりません。

以上のような要件に応えるべく、当委員会では、多くの企業に導入が容易で標準的な算定方法を提案し、それに必要なデータの収集方法をガイドブックとしてまとめてあります。この算定方法やデータ収集方法をロジスティクス環境会議メンバーの皆様で共有し、実際にご活用いただき、問題点や課題についてご意見・ご要望等をいただければ幸いです。

なお、共同配送などのように1台のトラックで同時に複数の荷主の荷物を輸配送する場合の二酸化炭素排出量の按分方法については、荷主企業と物流事業者の間でさらに具体的なルールづくりが必要であり、また、本ガイドブックで取り上げることができなかった鉄道・船舶等の輸送モードでの算定ガイドの作成も必要であると考えております。

2006年4月1日からいよいよ改正省エネ法が施行されますが、同法の定める算定方法に、本委員会の知見が反映されているものと自負しているところです。

物流事業者のみならず荷主企業においても、輸送活動に伴う二酸化炭素排出量の算定が本格化されることと思いますが、本ガイドブックが、その一助となれば幸いです。

社団法人日本ロジスティクスシステム協会
ロジスティクス環境会議
環境パフォーマンス評価手法検討委員会
委員長 増井 忠幸

環境パフォーマンス評価手法検討委員会 2005年度活動報告

	開催日	時間	会場
第10回	2005年6月3日(金)	15:00 - 17:00	J I L S会議室
第11回	2005年8月5日(金)	15:00 - 17:00	浜松町東京會館
第12回	2005年11月2日(水)	17:30 - 19:30	浜松町東京會館
第13回	2005年12月6日(火)	17:00 - 19:00	J I L S会議室
第14回	2006年1月25日(水)	14:00 - 16:00	J I L S会議室

環境パフォーマンス評価手法検討委員会 委員

No.		会社名	氏名	所属・役職
1	委員長	武蔵工業大学	増井 忠幸	環境情報学部 教授
2	副委員長	三菱電機(株)	飯島 康司	ロジスティクス部 企画・包装グループ 兼 企画グループ 専任
3	委員	青山学院大学	竹田 賢	経営学部 助教授
4	"	アサヒビール(株)	島崎 市朗	物流システム部 プロデューサー
5	"	味の素物流(株)	岡本 吾朗	経営企画部 部長
6	"	伊藤ハム物流(株)	秋山 秀夫	取締役 産業企業 ユニット・ゼネラルマネージャー
7	"	NECロジスティクス(株)	長田 彰	CS 推進部 環境管理室長
8	"	(株)NTTデータ	三竹 瑞穂	製造・流通ビジネス事業本部 製造・物流ビジネスユニット
9	"	(株)エプソンロジスティクス	谷口 義和	物流環境推進部 環境管理 G
10	"	(株)オリエント・ロジ	岩崎 良吉	輸送部 部長
11	"	鹿島建設(株)	中澤 喜久雄	エンジニアリング本部 本部次長
12	"	加藤産業(株)	花井 和夫	環境管理部 専任課長
13	"	キヤノン(株)	山口 雅史	ロジスティクス本部 環境物流推進課長
14	"	(株)合通	朝山 泰行	G.L.C 東京 所長
15	"	鴻池運輸(株)	山田 良太	品質・CSR 推進室 参事
16	"	国分(株)	山田 英夫	総務部課長 兼 環境担当課長
17	"	第一貨物(株)	大山 茂夫	業務第二部 部長
18	"	東芝物流(株)	石崎 雅規	物流技術部 品質・環境管理部 参事
19	"	トヨタ自動車(株)	谷川 壽邦	物流企画部
20	"	(株)豊田自動織機	吉兼 章生	安全衛生環境部 環境室 生産グループ グループリーダー
21	"	豊田スチールセンター(株)	小島 建蔵	環境安全推進室 主査
22	"	トヨタ輸送(株)	山岸 正和	経営企画部 環境推進室 室長
23	"	日本貨物鉄道(株)	舟橋 郁央	総合企画本部 投資計画室 グループリーダー
24	"	(株)日本航空インターナショナル	加藤 潤	貨物事業担当役員付 参事
25	"	日本電気(株)	小林 雅雄	開発・生産システム部 エキスパート

環境パフォーマンス評価手法検討委員会委員会 委員

No.		会社名	氏名	所属・役職
26	委員	(株)日本能率協会総合研究所	西谷 友克	社会環境研究本部 環境研究部 水政策研究室 室長
27	"	(株)バンダイロジパル	馬場 範夫	取締役 グローバル統括部長
28	"	(株)日立製作所	二ノ宮 滋	モノづくり技術事業部 トータル SCM センタ長
29	"	福岡倉庫(株)	黒田 朗	東京支店 営業部 主任
30	"	松下電器産業(株)	飯田 慎一	環境本部 環境審査グループ 主事
31	"	(株)三菱総合研究所	伊藤 一道	地球環境研究本部 サステナビリティ研究 本部 環境政策・経営研究チーム チームリーダー 主任研究員
32	"	(株)菱食	野村 久則	ロジスティクス本部 ロジスティクス統括部 ロジスティクス・コントロールチーム 主事

目 次

1 . 算定にあたっての基本的な考え方.....	1
2 . 算定方法.....	6
2.1 標準式：燃料法	7
2.2 準標準式 1：燃費法.....	10
2.3 準標準式 2：改良トンキロ法.....	14
2.4 簡易式：従来トンキロ法.....	18
3 . 事例集.....	22
3.1 事例の概要.....	22
3.2 事例一覧	25
4 . 按分の方法	29
4.1 按分とは	29
4.2 按分方法の標準化案.....	30
5 . 付 表.....	31
5.1 排出係数一覧.....	31
5.2 原単位一覧.....	31
6 . 資 料.....	33

付 録